

安全データシート(SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称:一酸化珪素
会社名:三和研磨工業株式会社
住所:〒611-0033 京都府宇治市大久保町上ノ山 22-1
TEL:0774-41-6656 FAX:0774-43-9201
緊急連絡先:京都薄膜材料研究所
TEL:0774-52-5488 FAX:0774-55-5095
担当者:福本 英二
E-mail Address: eiji_fukumoto@sanwakenma.co.jp
推奨用途及び使用上の制限:電子ビーム及び抵抗加熱蒸着用蒸着材

2. 危険有害性の分類

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性／引火性ガス	分類対象外
可燃性／引火性エアゾール	分類対象外
支燃性／酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	区分外
自己反応性物質および混合物	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性物質および混合物	区分外
水と接触して可燃性／引火性ガスを発生する物質および混合物	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
標的臓器／全身毒性(単回暴露)	分類できない
標的臓器／全身毒性(反復暴露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性)	分類できない
水生環境有害性(慢性)	分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

非該当

注意喚起語

非該当

危険有害性情報

なし

呼吸器系の障害

長期又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害

注意書き:

【安全対策】

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

粉じんを吸入しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急処置】

気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。

【廃棄】

内容や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 単一製品

化学名または一般名: 一酸化珪素

CAS 番号: 10097-28-6

酸化珪素: 99.95%

官報公示整理番号: 1-814

4. 応急処置

吸入した場合:

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合:

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。

皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。

直ちに医師に連絡すること。

目に入った場合:

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合:

速やかに口をすすぎ、直ちに医師の手当、診断を受けること。

予想される急性症状

データなし

び遅発性症状:

最も重要な兆候及び症状:

データなし

5. 火災時の処置

消火剤:

通常の消火剤

特有の危険有害性:

データなし

特有の消火方法:

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護:

適切な空気呼吸器、防護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

保護具及び緊急時措置:

関係者以外の立入りを禁止する。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

環境に対する注意事項:	作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や粉じん、ミストの吸入を避ける。
回収、中和:	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化方法と機材:	こぼれた物質を乾燥容器内に掃き入れる。
	危険でなければ漏れを止める。
	粉じんの発生、拡散を防ぐ。
二次災害の防止策:	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体排気:	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気装置、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項:	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
	取扱い後はよく手を洗うこと。
	粉じんが発生しないように注意して取扱う。
	眼に入れないこと。
	接触、吸引又は飲み込まないこと。
接触回避:	「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管	
技術的対策:	特別に技術的対策は必要としない。
混触危険物質:	「10. 安定性及び反応性」を参照。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度(厚生労働省):	設定されていない
許容濃度:	設定されていない
設備対策:	粉じんが発生する場合は発生源を密封し、局所排気装置を設置すること。
	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
呼吸器の保護具:	防塵マスクを使用する。状況に応じ、送気マスク、空気呼吸器を使用する。
手の保護具:	保護手袋を着用すること。
眼の保護具:	眼、顔面用の保護具又は呼吸用保護具と眼用保護具の併用を着用すること。
皮膚及び身体の保護具:	保護衣、保護長靴等を着用すること。
衛生対策:	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観等:	
形状:	固体
色:	茶色もしくは黒色
臭い:	無臭
PH:	データなし
融点・凝固点:	>1702℃
沸点、初留点及び沸騰範囲:	1880℃
引火点:	不燃性
爆発範囲:	データなし
蒸気圧:	1Pa(1080℃)、10Pa(1180℃)
蒸気密度(空気=1):	データなし
比重(密度):	2.13

溶解度:	データなし
オクタノール／水分配係数:	データなし
自然発火温度:	データなし
分解温度:	データなし
臭いの閾値:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:	常温で安定
危険有害反応可能性:	酸素と反応。 長時間、高温を経た場合は Si と SiO ₂ に分離する。この場合、Si が急激に酸素と反応する可能性がある。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質:	ハロゲン酸化物
危険有害性のある分解生成物:	データなし

11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性・刺激性:	データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	データなし
呼吸器または皮膚感作性:	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性:	データなし
生殖毒性:	データなし
特定標的臓器／全身毒性(単回ばく露):	データなし
特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露):	データなし
吸引性呼吸器障害:	データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性:	データなし
水生環境慢性有害性:	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装:	容器は清浄にしてリサイクルするか関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

国際規制	
IMDG コード	非該当
国連番号	非該当

海洋汚染物質	非該当
国内規制	
陸上規制情報	非該当
海上規制情報	非該当
航空規制情報	非該当
特別の安全対策:	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 水に濡れないように取り扱う。

15 適用法令

労働安全衛生法:	非該当
化学物質排出把握管理促進法:	非該当
毒物及び劇物取締法:	非該当
消防法:	非該当
船舶安全法:	非該当
航空法:	非該当

16. その他の情報

職場のあんぜんサイト 厚生労働省
化学物質総合情報提供システム 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

記載内容についてのご注意：

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成したもので、新しい知見により改訂されることがあります。また、記載された注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いをされる場合はその用途、用法に適した安全対策を実施してご使用下さい。

記載内容は情報提供であり、保証するものではありません。